



二十歳の声
新成人代表 増野 浩二

今、夢に向かって勉強している人、既に社会人として働いている人、私たち一人ひとりそれぞれ違った自分の信じる道を選択し、懸命に歩んでいるところ。毎日、中にも自分の描いていたマニュアル通りに事が進まず、悩んでいる人など、その道は様々な思いがあります。私は今、長門市を離れ、岡山市で働いています。多くの失敗を重ねる



たびに、次こそと、この繰り返しの日。毎日ですが、落ち込んでしまう時もありましたが、人生はその度に加速していくのだと思います。人は苦しくなると、自ら犠牲者という役割を選びとるそうです。思い返してみてください。自分の受けた影響ばかりを考えず、与えた影響を、きこ、なぜ自分の心が大きくならないのかに気付くはず。自分に厳しく、その分周りに優しくを配りながら、私も仕事に励むつもりです。

輝き溢れる青い海、豊かな緑、人の温かさ。私は、長門市というふるさと、そしてそこで出会った友を誇りに思います。人は、人を裏切り、恩を忘れ、約束を放棄することがあります。時には、簡単に敵になります。この不確実さの交わり合う中で、もしたった一人でも友と呼べる人があるのなら、それは素晴らしいことであり、かけがえのない存在です。二十年間、全ての出会いが私の大切な財産です。



最後にありますが、本日私たちが温かく迎えてくださった長門市の皆様、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

最後にありますが、本日私たちが温かく迎えてくださった長門市の皆様、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



1月3日、ルネッサなごで平成19年成人式が行われ、新成人421人(対象者608人)が出席しました。式典では、松林市長が「おめでとうございます。成人式は大人に成長していく過程の通過点です。この日を節目として、若々しい情熱と無限の可能性で素晴らしい『自分探しの旅を続けてください』とあいさつ。新成人を代表して杉山紘子さん(湊3区)が記念品を受け取り「ありがとうございます。大人としての常識を身につけ、精一杯努力してまいります」とお礼を述べました。「二十歳の声」として増野浩二さん(矢ヶ浦)が新成人としての決意を述べました。

式典後は、アトラクションとして「鼓波会」による門出の和太鼓演奏が披露されたほか、地区別の記念撮影も行われました。

